

令和3年度(令和2年度実施事業分)事務事業評価各課総括表・2次評価表

2次評価者

総務部財政課

総務部長 山本 卓美

整理No	事務事業名	3か 年実 施計 画	事業の評価・課題		今後の事業の方向性	
			自己 評価	評価内容	方向性	内容
06-001	財政管理事務	なし	B	計画的な地方債の償還と事業内容を精査することで起債発行額の抑制を図った。その結果、目標値の35億円の債務を削減し、地方債等残高は、令和2年度において347億円→312億円と大幅に削減できた。	現状 維持	今後予定される公共施設の更新、新病院建設等による財政需要の増額が見込まれるため、更なる債務削減に努めたい。また、起債の発行抑制及び償還期限の短縮などにより、財政負担の平準化を図る。
06-012	自動車管理事業	なし	B	令和2年度においては、新型コロナウイルスに係る会議等の中止が多くあり、総走行距離として、令和元年度は276,655km、令和2年度は241,846kmと前年比△34,809kmとなった。 走行距離が減少する中、燃料1L当たりの平均走行距離が目標値を上回ることができたのは、計画的に、低燃費、低排出ガスの車両を導入してきたことや、職員へのエコドライブ実践の呼びかけによる成果と考える	現状 維持	今後も、老朽車両更新時の車両購入の際に、低燃費・低排出ガスな車両を選択していくことで、平均走行距離の向上を図る。 また、市外出張にはハイブリッド車を優先的に使用することや、運転時のエコドライブ実践に関する職員への呼びかけ、不要な荷物を搭載しないような啓発、車両の不具合の早期発見、早期対応等、燃費の悪化を防ぐ働きかけを継続していく。
課等長	1次評価(令和2年度の総括評価)					
B	財政管理事務については、計画的な地方債の償還と借入により、目標額を達成でき、地方債残高を大きく削減し、財政健全化につなげることができた。今後は、新半田病院建設、小・中学校等の施設更新に係る費用の増加や新型コロナウイルス感染症による影響などに注視し、引き続き、地方債残高の削減に努める。 自動車管理事業については、長距離移動時の低燃費車両の利用促進など公用車の利用に関する啓発や、車両更新時における低燃費車両の導入により、目標を達成することができた。引き続き、利用について啓発を行うことで、効率的な公用車の利用に努める。					
部等長	2次評価(令和2年度の総括評価並びに今後の方針及び指示事項)					
B	地方債残高の縮減については、目標通り達成することができた。しかしながら、新型コロナウイルス感染症の状況は見通せず、税收減等に対応すべく、基金の活用と合わせ、起債による財源確保も必要となるため、こうした動向等を勘案し、適切な財政管理を行っていく。 公用車については、低燃費車両を順次導入することで目標値は達成したが、職員に対して、公用車を利用する場面の見直しや、様々な手段によるエコドライブの啓発活動を継続的にやっていく。					